

学習課題（小学校6年生）



【国語】

〈学習内容〉

◆「漢字の広場3」（教科書140ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書に出てくる言葉の意味が分からない場合は、辞典などで意味を調べましょう。（まとめ方の例あり）
- (2) 教科書140ページの絵を矢印通りに見ていき、作家になったつもりで物語を考えましょう。提示された言葉を使い、意味を考えながら正しく用いて、絵に合った物語をノートや取組シートに書きましょう。

◆「『鳥獣戯画』を読む」（教科書141～151ページ）に取り組みます。

「『鳥獣戯画』を読む」では、筆者の高畑 勲さんが絵と文章を組み合わせたり、効果的な表現を用いたりして、読者に『鳥獣戯画』の魅力^{みりよく}を伝えています。この学習では、次の単元「日本文化を発信しよう」で行うパンフレットの学習に生かしていくことができるように、筆者の論の展開や、表現の工夫、資料の使い方について学習をしていきましょう。

- (1) 「日本文化について説明するパンフレットを書く」という活動の見通しをもつために、教科書141ページと教科書153ページの「日本文化を発信しよう」の最初の文章を読みましょう。
- (2) 「『鳥獣戯画』を読む」の挿絵を見て、「鳥獣戯画の魅力」について自分なりに考え、ノートや取組シートにまとめましょう。
- (3) 「『鳥獣戯画』を読む」を読み、自分が考えた「鳥獣戯画の魅力」と筆者の「鳥獣戯画の見方」について比較してみましょう。
- (4) 筆者は、自分の見方を読者に伝えるために、どのような工夫をしているのでしょうか。「論の展開」、「表現の工夫」、「絵の示し方」に着目して、それぞれどのような工夫をしているか、工夫によりどのような効果があるかと考えるかを、ノートや取組シートにまとめましょう。（まとめ方の例あり）

絵巻物が「漫画の祖」という見方は線の使い方に注目しているんだ。



絵を分けて出すことで、アニメの原理と同じだということを知りやすくなっているね。

◆「『鳥獣戯画』を読む」「日本文化を発信しよう」で、学習する予定の新出漢字（「筋」～「従」）を練習します。（読み方や書き順などは303ページに載っています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします

・『鳥獣戯画』を読むの筆者である高畑勲さんはアニメーション映画監督です。パソコンなどを活用して、高畑さん自身や作品について調べてみることをお勧めします。様々なアニメーション映画を手掛けた高畑さんが『鳥獣戯画』をどのように見ているのか考えたり、教科書の文章を読んだりすることに関心をもつきっかけになります。

＜参考＞

(1) 「漢字の広場3」言葉の意味を表にまとめて学習する例

迷 う	殺 風景	独 り	破 損	墓 場	非 常 事 態	暴 風 雨	気 象	快 適	移 動	現 れる	飼 う	招 待 状	言葉 (読み方)
久 し ぶ り	喜 ぶ	再 会	博 識	質 問	感 謝	救 助	正 義	絶 望	夢	枝	険 しい	限 界	言葉 (意味)

学習する漢字について読み方を確かめましょう。分からない言葉は、辞書などで調べて意味を書いておきましょう。

漢字の広場③

『^{ちょうじゅうぎが}鳥獣戯画』を読む

(4) 筆者の論の展開や表現の工夫、絵の示し方についてまとめる例

〈絵の示し方について〉		〈表現の工夫について〉		〈論の展開について〉	
効果	工夫	効果	工夫	効果	工夫

筆者の工夫について

『鳥獣戯画』を読む